

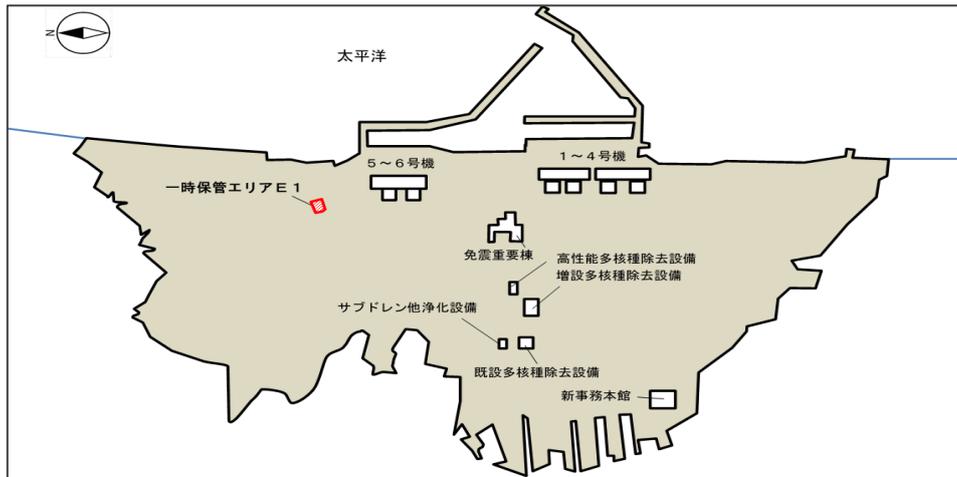
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年9月14日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアE1
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアE1における収納容器の養生及び内容物確認状況

4 確認結果の概要

令和3年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管していた収納容器（コンテナ）から放射性物質が漏えいした事象を踏まえて、東京電力では保管しているコンテナに内容物の把握が困難なものなどが存在するとして点検作業を進めており、前回に続き一時保管エリアE1での作業状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和3年8月3日](#)）

- ・確認作業が進んでおり、外観や内容物を確認したコンテナには確認したことを示す印が記されていた。（写真1）
- ・エリアの南側ではコンテナを白いシートで養生する作業が行われていた。養生が済んだシートには留め具が設置され、シートが風雨で動かないよう固定されていた。作業員は安全帯を装備し、安全帯に取り付けられたランヤード（胴綱）を親綱に掛けて作業しており、高所作業における安全対策がなされていた。（写真2）
- ・東京電力によれば、容器収納、シート養生が必要な一時保管エリアに保管しているコンテナは、9月中に仮設シートで養生し、その後令和4年3月を目処に本設シートで養生するとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
内容物が確認されたコンテナの状況



(写真2-1)
養生済みのコンテナの状況



(写真2-2)
養生作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった